

科目名 植物資源生産学特論(一) (2単位)

担当者氏名 吉田穂積、寺澤 和彦

◆学習・教育目標

植物資源の保全，環境に適合した植物生産，さらに新たな植物の機能開発と植物資源の開発に関わる最新の知見を得ることを本特論の到達目標とし、既存の植物資源の保全や生産に関わる背景や現状について理解するとともに環境に適合した植物生産管理法や生物資源機能の新しい応用などについての基礎的な知識を講義し論議する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

地球環境 生物連鎖	環境変動 総合的生産管理	自然生態系 環境保全	農業生態系 持続可能な食糧生産
--------------	-----------------	---------------	--------------------

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1～5	植物生産と非生物的环境要因 (寺澤)	植物生産と非生物的环境要因との関係並びに植物生産に利用される資材の環境への影響について講述する。	植物生産は、非生物的环境要因により遺伝的能力の発現が大きく影響される。そこで、持続的な生産環境構築のための基礎を理解し、今後を思考する。
6～10	植物生産と生物的环境要因 (吉田)	作物生産は、環境内の生物的要因との関係によりその収量が最終的に規定される。そこで、これら生物的要因と作物生産の関係について講述する。	植物生産と生産環境内の生物的要因との関連性について学習してもらい、その重要性を理解し、他生物との関係による作物生産の展開を思考する。
11～15	作物生産の現状と課題 (吉田)	21世紀の作物生産において対応しなければならない課題についての現状と今後の展望について講述する。	地球環境の変動が予測されているなかで、21世紀における持続的な作物生産を可能にするため課題について学習する。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

各テーマに応じた資料を講義時に配布予定である。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義時に紹介する

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

出席とレポート等で評価する。

◆その他受講上の注意事項

講義時に配布された資料や講義前に指示した資料をよく理解しておくこと。